

スマイル ニュース

SMILE NEWS

231

男女共同参画推進委員会

「共育（トモイク）プロジェクト」

一人で「家事・育児」や「仕事」を担う、いわゆる“ワンオペ”の実態を変え、誰もが希望に応じて仕事と家事・育児を両立する社会を目指す「共育（トモイク）プロジェクト」が令和7年度に厚生労働省で発足しました。家族のかたちはさまざまですが、子育てを「家族で一緒に担う」意識が広がることは、家庭にも職場にも大きな力になると思います。

最近では、育児や介護と仕事の両立を支える制度の利用が広がっています。厚生労働省の「令和6年度雇用均等基本調査」によると、育児休業の取得率は、女性が86.6%、男性が40.5%、男性は前年度から10.4ポイント上昇し、伸びが目立ちます。一方で男女差はまだ大きく、家庭と職場での理解や環境づくりが引き続き重要です。

また、産後8週間以内に4週間を限度として取得できる「産後パパ育休」の活用も進み、男性の育児休業取得者の60.6%が利用しています。短期間でも休みを取ることで、産後の女性の負担軽減や育児参加の第一歩につながります。

共育が進めば、育児や家事はみんなで担うもの、という意識の醸成にも繋がり、職業選択の幅も広がって仕事を選びやすくなります。そうすることで家庭生活もより生き生きとしたものになるのではないかと思います。

このように、育児休業の取得率が伸びている今だからこそ、制度を「取りやすく、活かしやすく」する後押しを、みんなで進めていきたいですね。



【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
(総務課総務担当内) ☎ 62-3117